

● 高瀬川の流しびな

3月31日(土)、出雲市中心商店街で毎春恒例イベント「出雲の春は ひなめぐり」が開催され、多くの人で賑わう中、かわいい子ども達が主役の「流しびな」が始まりました。

着物姿の子どもたちが、一年の無病息災などを祈りながら「流しびな」を高瀬川に流します。今年は例年より早々と満開となったの桜の中、晴天に恵まれ多くの子どもたちが参加しました。

この「流しびな」は出雲市内から大社町へと続く高瀬川沿いの環境美化や地域振興などを目的に始まり、27回目を迎える今では出雲に春を告げる風物詩になっています。

同時に開催された「ひなめぐり」では、おひな様の特別展示やこども茶席などをはじめスタンプラリー、各商店街の中でイベントが開催され、楽しそうに商店街をめぐる親子の姿などが多くみられ来場者で賑わいました。

メイン会場では地元の小・中・高校生の吹奏楽プロムナードコンサートや、こども和文化クラブの子どもたちによる箏や日本舞踊が披露されるなど、大人から子どもまで楽しめる盛りだくさんのイベントでした。



「ことしも1年良いことがありますように」と願いをこめて



青空の下、高校生による心地よい演奏

出雲の春を告げる、出雲ならではの伝統と文化を堪能できる「流しびな」と「ひなめぐり」。この伝統行事が継続されるよう、きれいな水の高瀬川を、今後も守っていきたいと思います。



お化粧をして綺麗になった女の子たち